



セオリー通りであれば、10月実施第2回進路希望調査結果や1~2年次後期中間考査についての話題を扱うところですが、今回は、次のように少し切り口を変えて、1月の進研模試や2月に実施される第3回目の進路希望調査につながる話をしたいと思います。

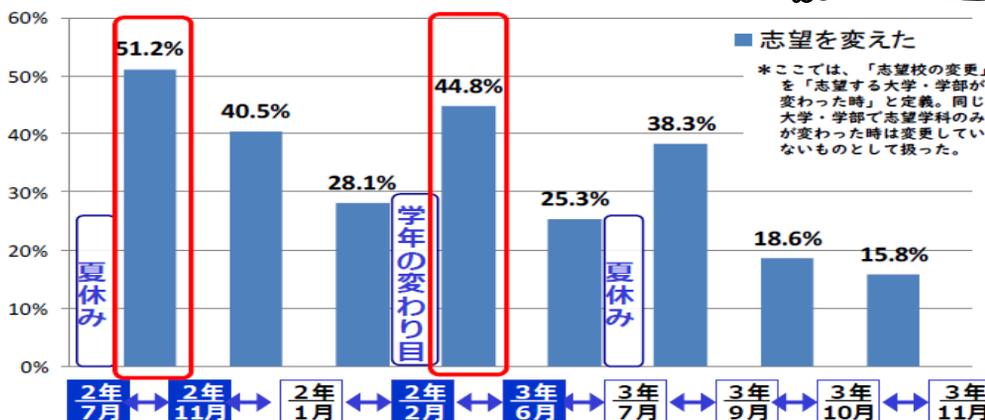
テーマは次の2つです。

《学力はいつ伸びるのか?》

《学力はなぜ伸びるのか?》

(1) 第一志望を変更する主な時期と割合

10月の第2回進路希望調査
みなさんは?



*進研模試全回受験者のデータより抜粋。

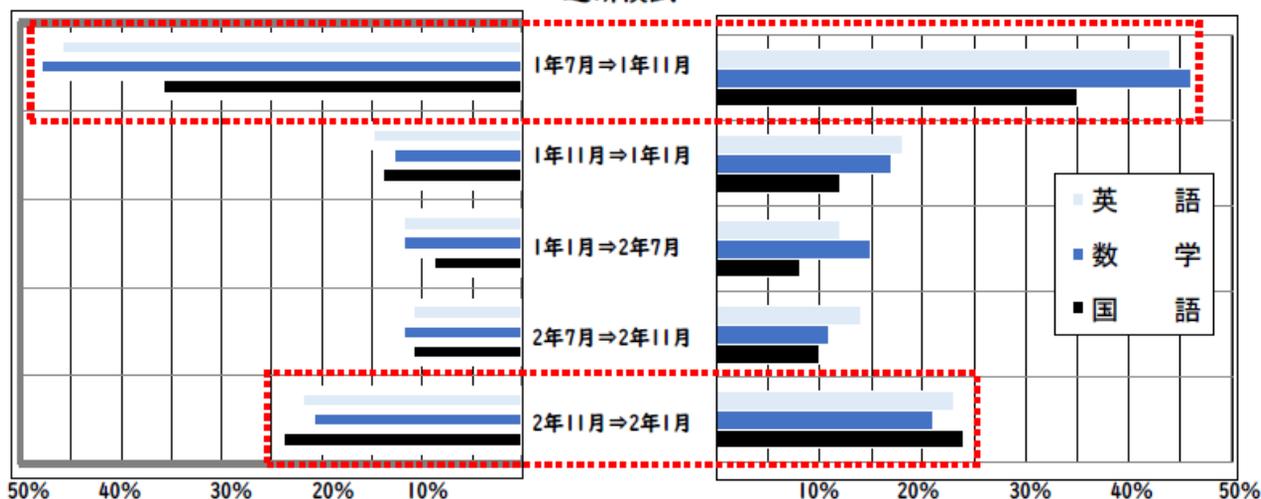
2年生夏～秋・2年生から3年生への学年の切り替え時期に志望変更する生徒が多いことが読み取れます。2年次のみなさん、どうでしょうか？ なぜ、このような結果となるのでしょうか？

(2) 『第一志望を変更する主な時期』 = 『成績が変動する時期』

成績が上昇した生徒の割合

進研模試

成績が下降した生徒の割合



※「1年生7月進研模試」から「2年生1月進研模試」まで連続して受験した生徒の成績データを抽出し、成績の変動の割合を示したデータ。

学力が伸びる時期は2回 《1年次11月模試・2年次1月模試》

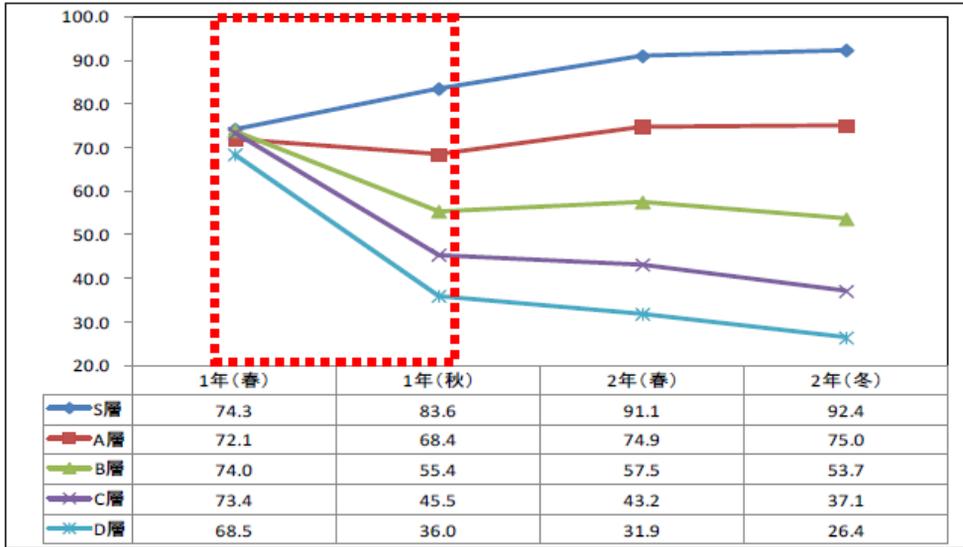
①初期指導期(1年7月模試～1月模試)

・特に成績が変動しやすい1年生夏から秋にかけて成績が上昇する生徒が合格する傾向がある。

②受験生切り替え期(2年7月模試～1月模試)

・志望が変わりやすい2年秋に志望を貫き、2年生1月までに国数英が伸びている生徒が合格する傾向がある。

(3)学力はなぜ伸びるのか? 《志と目標設定の重要性》



※2014年全国3年生 スタディーサポート推移

成績層と学習量の関係(全国成績層別学習時間(分))になります。
ポイントは、次の2点。

- ①入学時期での学習時間に差はみられない。
- ②1年生の秋以降で成績層と学習時間に相関関係がみられる。

そして、『成績層と学習量の関係』と表面の『第一志望&成績が変動する時期』は見事に一致していることが読み取れます。

学力の積み上げは右の図1にあるように学習習慣の確立⇒基礎学力⇒応用力⇒入試と土台を固めながら、作り上げていくことに他なりません。

そして、学力の積み上げを可能とするものは・・・つまり勉強するためのエンジンとなるのは、『志』であることが、右下の図2から読み取れるのではないのでしょうか?以前示した図3になりますが、

図1

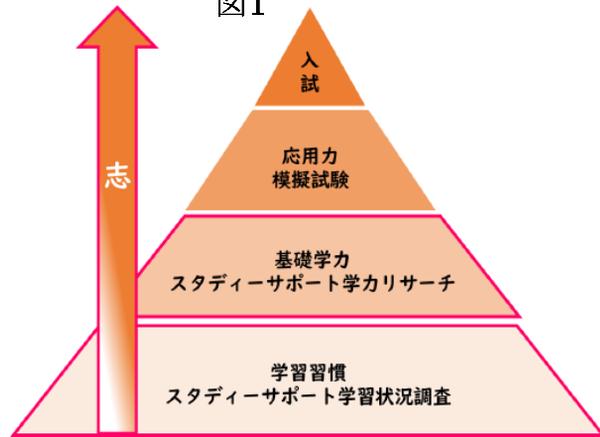
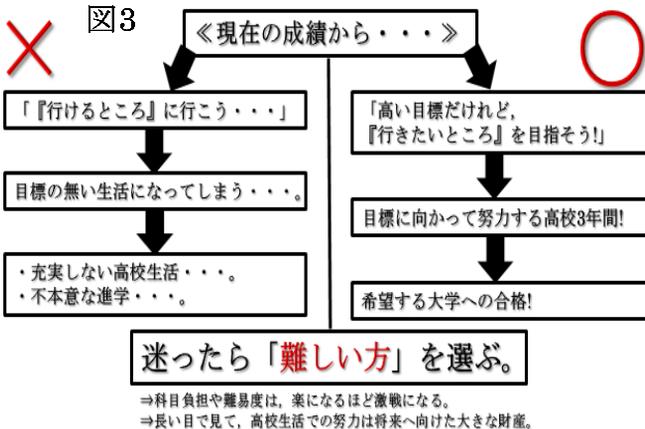
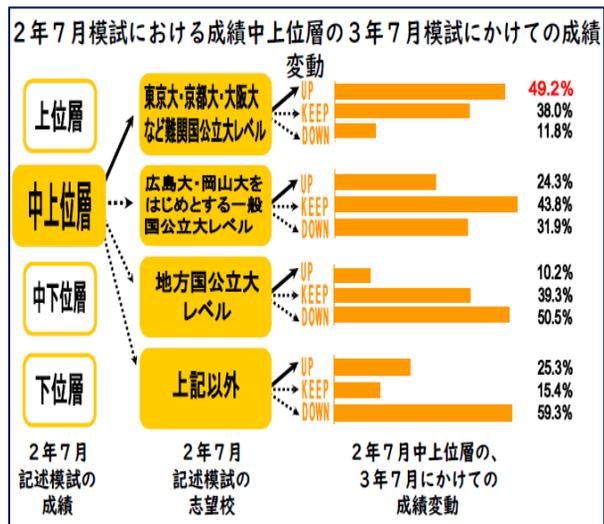


図2



今春、令和2年3月に卒業した先輩の入学時の成績・進路希望の様子と、その後の学力の伸び・変化にも同様の傾向がみられます。

志を高く持ち、日々の授業への取り組み(基礎基本の土台作りの場)を振り返りましょう。

キーワードは「なぜ、学ぶのか?」

今まで進路について考えたことは無くても、少しでも興味をもった「あなた!」今が視野を広げるチャンスです!! (利府styleは利府高校公式HPでも公開しています。カラー版もぜひ!)